

週間漁海況情報 2024年第18号

令和6年4月30日発行

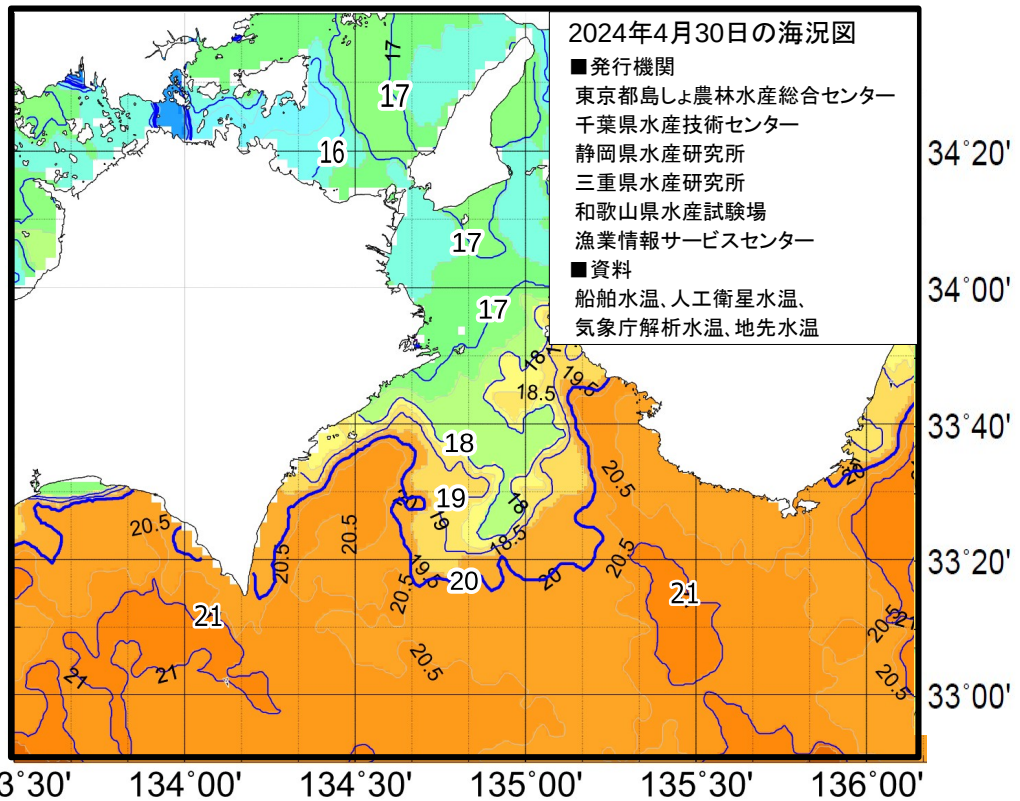
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖88マイル付近、潮岬沖140マイル付近を流れ、室戸、潮岬とも「著しく離岸」している。黒潮は大きく離れているが、室戸岬、潮岬側から紀伊水道への暖水波及が見られる。

黒潮の表面水温は22～24℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘は15～17℃、紀伊水道は16～17℃、海部沿岸は17～20℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
 潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

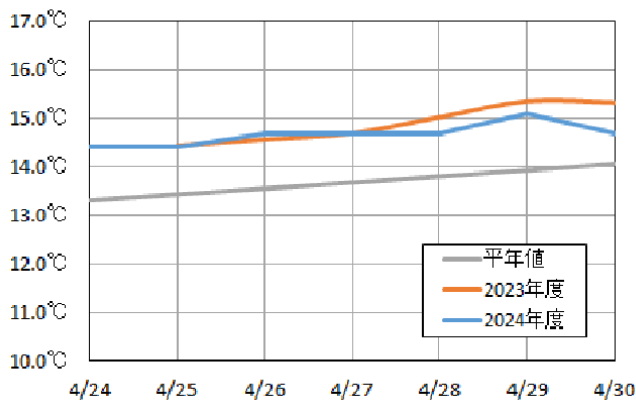
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

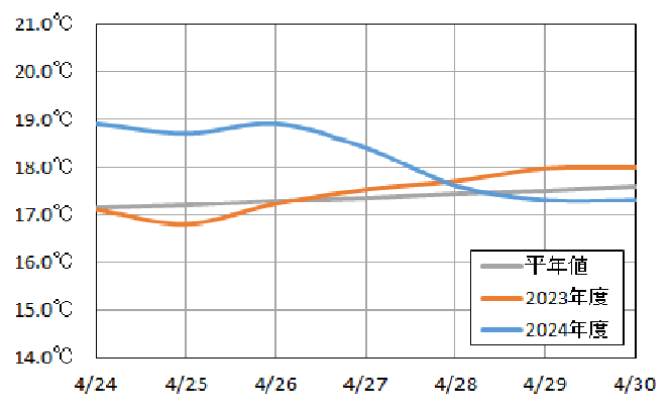
2. 地先水温(4月24日～4月30日)

鳴門地区の水温は、14.4～15.1℃で「やや高め」、浅川地区は、17.3～18.9℃で「高め」から「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は2.2～4.5℃で、先週とほぼ同じであった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(5月1日～5月7日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖ともに「著しく離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、浅川地区は「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (4月22日～4月28日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

建網では、カワハギが大主体に0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて1.3ト、ブリが減ってめじろ級主体に0.9ト、ボラが大きく減って大主体に0.5ト水揚げされた。

底びき網では、マダイが大きく増えて大主体に2.7ト、えそ類が1ト、シロサバフグが大きく増えて0.8ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

延縄では、キダイが大きく増えて0.7ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく増えて0.7ト水揚げされた。

大型定置網では、ブリが大きく増えてめじろ級主体に24.5ト、マサバが大きく増えて小主体に12.7ト、マルソウダが大きく増えて2ト、マアジが1.9ト、マルアジが大きく増えて小主体に1.4ト、イシダイが増えて大主体に1.3ト、クロダイが減って大主体に1.1ト、シイラが大きく増えて小主体に1ト、カワハギが大きく増えて0.6ト水揚げされた。

釣りでは、カツオが増えて2.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.40トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	操業隻数	魚種	漁獲量	1日1隻当たり	銘柄	前週比
紀伊水道	延縄	50	ハモ	7,713	154	中主体	→
	建網	57	カワハギ	405	7	大主体	→
	小型定置網	17	マアジ	1,323	78		↗
		19	ブリ	869	46	めじろ級主体	↘
		8	ボラ	489	61	大主体	↘↘
	底びき網	30	マダイ	2,655	89	大主体	↗↗
		32	えそ類	957	30		→
		25	シロサバフグ	807	32		↗↗
海部沿岸	延縄	15	キダイ	675	45		↗↗
	小型定置網	10	ブリ	676	68		↗↗
	大型定置網	5	ブリ	24,515	4,903	めじろ級主体	↗↗
		4	マサバ	12,703	3,176	小主体	↗↗
		4	マルソウダ	2,027	507		↗↗
		5	マアジ	1,902	380		→
		4	マルアジ	1,385	346	小小主体	↗↗
		5	イシダイ	1,306	261	大主体	↗
		5	クロダイ	1,082	216	大主体	↘
		4	シイラ	1,047	262	小主体	↗↗
		5	カワハギ	631	126		↗↗
	釣り	40	カツオ	2,335	58		↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘